

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成4年度～	
総合計画	大項目	基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目	基本施策	03 歴史と文化の輝くまちづくり
	小項目	施策	01 文化芸術の振興
事務事業名		01	文化活動推進事業
根拠法令・例規等		国民文化祭開催要綱	
問合先		担当課(室)	生涯学習課文化係
職・氏名		係長 石井 啓	
電話		0869-64-1841	
このシート作成に要した時間		5.0 時間	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	市内外の子どもから大人まで、芸術文化に興味のある人。これから文化活動を行う人材。
目的(何のために)	文化は心豊かな人間性を育むものである。地域の芸術文化に親しむ機会を提供し、市民の文化力を高めていく。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	吹奏楽フェスティバルについては、参加団体の活性化と自主活動を促進する。本年度開催の国民文化祭は多くの市民に「体験を伴う」参加を呼びかけ、地域文化の再発見と次世代の文化活動を推進する。

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
備前吹奏楽フェスティバル事業	音楽活動を通じて、小学校・中学校・高等学校・社会人の文化交流を促進し、平素のグループ活動の集大成の発表の場を設ける。		
国民文化祭準備事業	平成22年度岡山県開催の国民文化祭は、全国最大規模の文化芸術の祭典であり、県内市町村が地域の特性に応じた文化事業に取り組む。主催事業は「美術展(陶芸)」と「陶芸の祭典」であり、実施方針である「市民との協働」、「伝統文化の継承と次世代の文化活動支援」、「活力あるまちづくり」、「おもてなしの心とふれあい交流」のテーマに沿った事業を、備前市実行委員会が展開する。		
目的を達成するため実施した事業			

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
事業費	直接事業費	千円	136	310	872
	必要人員人件費	千円	0.12人	0.28人	0.56人
	事業費計		850	2,036	4,370
決算額	国県支出金				
	受益者負担				
	繰入金	千円			
	その他()				
一般財源		986	2,346	5,242	
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	結果指標量	説明	国民文化祭関連行事の参加者数		
	対前年比	%		50	450
	活動コスト	円		1,763,000	4,571,000
	単位当たりコスト	円		35,260	10,158

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
国民文化祭備前市行事参加者数	目標値(A)		50	300	10000
	実績値(B)		50	450	到達目標値
	達成率(B/A)		100.0%	150.00%	8000
成果指標設定の考え方・式や説明					
備前市に於ける国民文化祭各事業及び市内協賛行事の参加者数(H21は灯りのオブジェ体験100、プレイベント200、ボランティア行事150)					

事務事業の評価		評価	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> A
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> B
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 <A-E> A
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	

進行年度(H22年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	吹奏楽フェスティバルは人的コストの削減の削減に努める。国民文化祭は、本年度の生涯学習課の最重要課題であり、実行委員会を中心に効果的な啓発活動、各団体への参加促進、そして市内小・中学校における陶芸体験活動を推進し、伝統文化の継承を促進する。この事業に参加することイコール「体験」することと位置づける。						

総合評価		評価区分	図表
国民文化祭は社会教育関係団体の活性化やボランティア参加の促進、県下児童生徒の陶芸体験活動に有益な事業であり、それは生涯学習の推進に大いに活用すべき事業である。子どもから大人まで土ひねりに参加し、出品までの努力をする過程(ワークショップなど)こそが国民文化の本質であり、本番は活動の集大成が展示発表される。参加に対する思い入れが事業への愛着を生み、市民の満足度を上げるものと確信する。国民文化祭における陶芸体験者約1000人(灯りのオブジェ、美術展、子ども備前焼作品展)に於いて、どれだけ展示までの努力したが、そして行政が体験の場を多く提供したかがものを言う事業である。		<A-E> A	

平成23年度の方向性 及び 取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	国民文化祭は、岡山県の伝統工芸である「備前焼」の将来及び、これからの市民の文化活動推進を見据えたものである。市費はできるだけ継続して使用できるものを作成・購入しており、次世代の文化活動が継続するよう、「子ども備前焼作品展」をはじめソフト事業としての継続を模索する。						

事業の目的、対象、内容を考えてながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストは留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい